

硬筆指定課題 評価の観点

《小6》 大平恵理 書

始めに、姿勢とえんぴつの持ち方を確かめます。

正しく整えて読みやすく書くことが大切です。「止め・はね・はらい、線の長さや方向、あき、折れ、折り返し、曲がり、そり、線と線の接し方と交わり方、一字一字の組み立て方、筆順、筆圧」に気をつけて書きましょう。

手本の文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。

心 ななめにそろえる		道 筆順に注意	
足		あ はらい	
確 6 7 8		書 長く	
旅 1 2 3 4 5 6 7 8		武 1 2 7 8	
精 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		れ はらい 下まで長く しっかり交わる	
神 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		歩 長く	

※次のむすび方でもよい。「な」

外形

注意するところ

あき

同じ広さの

広いあき

せまいあき

曲がり

方向

長さ

説明の記号

一字一字の外形、文字の大きさや幅、行の中心、配置などを考えて、真っ直ぐ書くようにしましょう。半分の高さで見当をつけ、バランスよく収めるようにします。

①	②
書写書道に武道に茶道、	

※わくの両はじの「・」は1/2の高さを示しています。

氏名は上と下のあきをそろえて、課題の文字より少し小さめに書きます。

小六